

～浅間山の噴火 目撃・体験調査～

浅間山は最近 60 年間ほどはそれ以前に比べて活動が穏やかな状態が続いており、若い世代は 20 世紀前半などの非常に活発な頃の浅間山の様子をよく知りません。そのため噴火を目撃・体験された方のお話（場所と内容）は、大変貴重です。これは浅間火山の噴火の実態を知ることを中心とした学術調査ですが、将来的には、こうした調査を取りまとめ、若い世代への伝承にも活用していきたいと考えております。ご記憶の範囲で構いませんので、ご記入をよろしくお願いいたします。親御さんからきいたお話などもありましたら、記入していただければ幸いです。

データのとりまとめ時に個人情報を公表することはありません。追加でお話をうかがう場合がありますので、できるだけお名前のご記入をお願いします。

日本大学文理学部地球科学科教授
火山地質学研究室 安井真也（やすいまや）

1. 回答者のお名前・連絡先メールなど

ご年齢 歳

記入日
令和 年 月 日

2. 性別 男性 ・ 女性 ・ その他 ・ 回答しない

3. お住まい（現在、別荘滞在中の場合は、番号に○か地名をご記入ください）

1 小諸市 ・ 2 佐久市 ・ 3 御代田町 ・ 4 軽井沢町 ・ 5 嬬恋村 ・ 6 長野原町

別荘（ 1 2 3 4 5 6 ） その他（ ）

4. 目撃・体験した噴火事例に○をつけてください。

※複数ある場合は、すべてご記入ください。参考：H 昭和 33 年 11 月が明治以降最大級の噴火

	記入例	記号にマルをつける↓	
A	昭和 22 年 8 月 14 日昼	B 昭和 24 年 9 月 3 日朝	C 昭和 24 年 9 月 21 日午後

	噴火年月日と時間帯				
A	昭和 22 年 8 月 14 日昼	B	昭和 24 年 9 月 3 日朝	C	昭和 24 年 9 月 21 日午後
D	昭和 24 年 9 月 26 日午後	E	昭和 25 年 9 月 23 日未明	F	昭和 29 年 9 月 6 日夕方
G	昭和 30 年 6 月 11 日夜	H	昭和 33 年 11 月 10 日夜	I	昭和 34 年 4 月 14 日夜
J	昭和 36 年 8 月 18 日午後	K	昭和 48 年 2 月 1 日夜	L	昭和 48 年 2 月 20 日朝
M	昭和 48 年 3 月 10 日朝	N	昭和 57 年 4 月 26 日深夜	O	昭和 58 年 4 月 8 日深夜
P	平成 16 年 9 月 1 日夜	Q	平成 16 年 9 月 16 日前後	R	平成 16 年 (2004)
S	平成 21 年 2 月 2 日深夜	T	その他： 年頃	U	その他：年代不明

昭和 22 (1947)、昭和 33 年 (1958)、昭和 48 (1973)、昭和 57 (1982)、平成 16 (2004)、平成 21 (2009)

続いて次ページにご記入お願いいたします

5. 印象に残っている噴火の状況を噴火事例ごとにご記入ください。

- (1) 噴火を目撃・体験した場所（地区名などできるだけ詳しく）
- (2) その噴火について（光景、爆発音、噴煙の色・形・高さ、降ってきたもの・大きさなど）
- (3) 被害の有無（ 有の場合 どこでどんな被害があったか。例：農作物、窓ガラス ）
- (4) その他（覚えていること何でも構いませんので、自由にご記入ください）

※複数ある場合は、年代ごとに（前ページ4のアルファベット）、ご記入ください

記入例

H 昭和 33 大日向御巡幸記念碑そば、全山真っ赤、大爆音、夕立のように小石が降る、一面灰色。

M 昭和 48 中軽井沢の駅付近、ドーンという爆発音と鳴動。黒煙が上がる。車のガラスが割れる。

紙面が不足する場合は、「裏へ」として裏面へ続きをお書きください。

6. その他、ご意見等ありましたら、ご自由にお書きください。



以上で終了です。ご協力どうもありがとうございました。ご提出は、依頼された方にお渡しいただくか、

この用紙の写真をメールで送信いただくと助かります。 yasui.maya@nihon-u.ac.jp

〒156-8550 東京都世田谷区桜上水 3-25-40 日本大学文理学部地球科学科 安井真也

ご回答は Google フォームでもできます